

[成果情報名] 小輪、白花、一重咲きの切り花用マーガレット新品種「伊豆 36 号」

[要 約] 交雑育種法により、小輪タイプ、白花で一重咲きの切り花用新品種「伊豆 36 号」を育成した。本品種は、無花粉で、年内から開花し、現地の適応性も高いことから、切り花用品種として有望である。

[キーワード] 鉢物、マーガレット、新品種、交配育種

[担 当] 静岡農林技研・伊豆研セ

[連絡先] 電話 0557-95-2341、電子メール agriizu@pref.shizuoka.lg.jp

[区分] 関東東海北陸農業・花き

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

切り花用マーガレットは静岡県伊豆地域で生産されている。一方で、小輪タイプの白花は、茎が硬く、秋季から開花する特性を持った品種の育成が求められている。このため、交雑育種により既存の品種よりも優れた特性を持った切り花用マーガレット新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 育成経過：2008 年に静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センター南伊豆分場において、育成系統「05-20-1」の自然交雑実生を播種して得られた 152 個体から 8 個体を優良個体として選抜した。選抜個体を系統とし、所内および現地ほ場で生育および開花特性に注目して選抜を行った。その結果、花色が白色で一重咲きの「08-15-3」は切り花品種として有望性が認められたため、育成系統候補「伊豆 36 号」とした（図 1）。
- 2 生育特性：「伊豆 36 号」は、無花粉の小輪タイプの一重咲きの白花で、プリンセスリトルホワイトと同等な開花時期である（表 1、図 2）。また、プリンセスリトルホワイトと比べ、茎、花首の下垂度が低く、切花用に向く。
- 3 現地適応性：「伊豆 36 号」は、切花向けの草姿で、年内から開花したことから年内出荷が可能な切花用品種として評価された（表 2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 種苗法による品種登録を出願予定であり、栽培にあたっては静岡県との許諾契約が必要である。

[具体的データ]

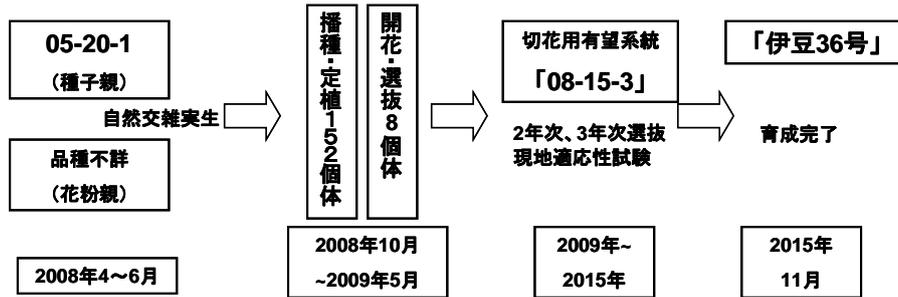


図1 マーガレット「伊豆36号」の育成経過

表1 「伊豆36号」の生育開花特性(所内試験、地床栽培)¹⁾²⁾

系統名 品種名	草型	開花 開始	花色 舌状花 筒状花	花径 (cm)	花型	花粉の 有無	茎の 下垂度 ³⁾	花首の 下垂度 ⁴⁾	葉の形質 葉色
伊豆36号	立	10月中	白 黄	3.2	一重	無	2	0	灰緑
プリンセスリトルホワイト ⁵⁾	立	10月中	白 黄	3.1	一重	無	10	25	緑

- 1) 生育特性はマーガレット審査基準により栽培期間中に観察調査を行った。
- 2) 挿し芽: 2014年6月3日、ポット上げ: 6月23日、定植: 7月17日
- 3) 切花頂部より45cmの位置を水平に支え、先端の下垂部分を水平面から測定した。
- 4) 花首10cmの位置を水平に支え、先端部分を水平面から測定した。
- 5) 対照品種

表2 「伊豆36号」の生育開花特性および栽培担当者の評価(現地試験、地床栽培)¹⁾²⁾

系統名 品種名	草丈	開花 開始	花径	花型	現地生産者の評価
伊豆36号	高	10月中	小	一重	開花が早く、立葉である。(Y,W,V) 茎が硬く、花持ちがよい。(Z,Y,X,V)
プリンセスリトルホワイト ⁴⁾	高	10月下	小	一重	

- 1) 生育特性はマーガレット特性審査基準に従って観察調査を行った。
- 2) 挿し芽: 2014年6月上旬、ポット上げ: 6月下旬、7月上旬に生産者に引渡し以降は現地慣行で栽培した。
- 3) 南伊豆町(Z、Y、X)、河津町(W)、東伊豆町(V)
- 4) 対照品種



図2 「伊豆36号」の開花時の様子と全体写真

[その他]

研究課題名: マーガレット等伊豆特産花きの育成と生育特性の解明
 予算区分: 県単
 研究期間: 2011~2015年度
 研究担当者: 稲葉善太郎、武藤貴大